



北東中だより



時間は有限 使い方は無限

良いお年を

NO. 8

文責 仙洞田茂雄



平成27年度 生徒会役員選挙



12月4日、二葉会立会演説会が行われました。平成28年度の生徒会役員を決める重要な選挙は、熱気あふれる演説・討論の中、全校生徒が真剣に候補者を選ぶとする姿に、成長を感じることができました。早朝から校舎前に立ち、昼休みの時間もなく、帰りには各学級を巡り、選挙運動を繰り広げていました。「おはようございます。〇〇候補には〇〇をよろしくお願いします。」という元気な声が学校中に響き渡っていました。

立候補者はもちろんですが、責任者や応援の皆さんの気持ちのこもった選挙運動が展開され、2学年の意気込みが感じられるものでした。どの候補者も北東中学校をどんな学校にしていきたいのか、どこを変えていけば良いのか、しっかりした考えを持ち、来年度の北東中学校生徒会を安心して任せられることができると強く感じました。そして、立候補した皆さんの誠実でひたむきな姿に私は感動を覚えました。

選挙当日は、立会演説会や討論会を経て、投票が行われました。候補者、責任者、応援して協力してくれたみなさんの活動の姿は大変立派でした。また、選挙管理委員のみなさんも手際よくその責任を果たしていました。選挙の結果、来年度会長に宮井賢人君、副会長に小林柚夢君と鍋谷咲希さんが選ばれました。



「伝統は守るだけのものではなく、つくりだすもの」

来年度の二葉会・全校生徒の成長を大いに期待しています。



新生徒会長の抱負 宮井賢人

◇僕はこの素晴らしい北東中をもっともっと良くしていきたいです。北東中には先輩から後輩へ受け継がれてきた素晴らしい伝統があります。この伝統を絶やすことなく、さらに発展させていくために努力していこうと思います。しかし、一人の力だけではそのような事はできません。そこで二葉会に所属する全校の生徒が一丸となり団結をしていくことが必要だと思います。全校で団結して日々を送っていくことで、二葉祭や合唱祭などもさらに有意義なものとなっていくと思います。日常の生活で培った団結力で北東中全員が向上していけば、受け継がれてきた伝統を素晴らしいものに発展させていけると思います。北東中をよりよい学校にしていくために精一杯努力していきます。皆様のご協力をよろしくお願いします。◇

～20歳の手紙～ 5年後の自分へ



12月1日、北東中学校で「20歳の手紙の開封式」が行われました。本校朝礼台（校庭南側の中央）横にある石でできたオブジェは、平成21年北東中50周年を記念して作られたものです。この記念碑の中は空洞になっており、タイムカプセルの役割を果たし、上方にはそれを象徴するかのよう、日時計がついています。50周年以来、生徒は毎年、この時期になると「20歳になったときの自分」に向けての手紙を書き、親や親族は、「20歳になったときの君」にむけてのメッセージに切手を貼り、この記念碑の中に収めてきました。





あの日から5年が経過し、今年もこの手紙を取り出し、ポストに投函するために、卒業生の代表とPTAの代表の方が、北東中学校に集まりました。5年の時を経て無事に取り出された手紙は、それぞれのもとに届いたものと思います。卒業生の皆さんはこの手紙をどんな気持ちで読んだことでしょうか。この恒例行事は、その後も続いており、12月1日の開封式の日の夕方には、

あらたに、現在の3学年の生徒と保護者の代表がこの記念碑に手紙を収めました。



🍎 「5年後何しているかな?」「5年後一緒に開けに行こうね」と友達と会話しながら、20歳の自分への手紙を箱に入れました。仲間と過ごした日々を思い、5年後の再会を誓いました。これから大人になることへの不安はありますが、20歳を迎えるその日、それぞれが夢に向かって輝いていることを信じて、私自身も頑張っていきたいと思います。北東中で出会った人々、過ごした日々は私にとってかけがえのない宝物です。5年後が今からとても楽しみです。

3年 保坂 南



地域とともに・・・ 清掃活動



11月23日(月)、相川地区、富士川地区、新紺屋地区それぞれの地区で行われている地域清掃に、生徒と職員が参加しました。早朝の武田神社で始まった清掃活動には小学生、保護者、地域の方々も集まり、本校生徒と一緒に清掃をしている姿に、伝統の重みと温かさを感じました。その後、護国神社での焼き芋が行われたことで生徒もうれしかったことと思います。一方、



富士川地区では、グラウンドの隅の枯れ木の除去や、施設の清掃等が行われ、生徒も自主的に清掃活動に取り組んでいました。新紺屋地区では、八幡神社の杜の大量の落ち葉をゴミ袋に拾い集め、みんなで焼き芋づくりをしました。

爽やかな気持ちで、それぞれの地域を回り、あらためて子どもたちは地域の中で育っているんだなと感じました。地域とのつながりが希薄になってきていると言われる昨今ではありますが、この北東地域では、まだまだ皆さんで協力して街づくりが行われていると思いました。今後は少子高齢化の時代を迎えますが、現在の中学生が地域で果たす役割、果たさなければならぬ役割を考え行動できるように、地域に根ざした教育を推し進めていくことができるよう取り組んでいきたいと思っています。



小中連携事業 始まる

これまで、小中連携事業として、夏には小中学校の先生の合同会議をし、情報交換や合同あいさつ運動等連携事業を行ってきました。12月7日(月)には、初めての試みで、北東中3年生120名が相川小学校を訪問し、合唱を披露し、学校紹介を行いました。6年生に期待することなどを伝え、小中学校のつながりを深めることができました。当日は生徒会長の松村信君があいさつをし、井手実李さん(英語暗唱大会市3位)がそれを英語でスピーチをするという構成で始まり、合唱曲2曲が体育館に響き渡りました。中学生になるということ、これから3ヶ月の過ごし方などが生徒から話され、真剣に耳を傾けていた小学生の姿が印象的でした。以下は小学生の感想です

🎄 12月7日に北東中の3年生が中学校の様子を話してくれ、合唱を聞かせてくれました。はじめの中学校の様子の説明は、日本語と英語で交互に説明していて、すごいなと思いました。とてもわかりやすく説明してくれて、中学校への不安がなくなりました。合唱は私達にない響きがあって、男性パートもきれいな低い声がたくさん聞こえて、6年生にはできないことだなと思いました。ソプラノ



・アルト・バスの3つのハーモニーがとてもきれいで「自分達も3年生みたいなハーモニーがしたい」と思いました。3年生は高校受験のための家庭学習を3～4時間もやっているのがすごいと思いました。私は中学に入学するのが不安だったけど、早く中学生になりたいと思いました。



3学期には、新紺屋小学校へ吹奏楽部が演奏に出かける予定です。また、生徒による学校紹介も現在検討中です。小中学校のつながりがスムーズにいき、安心して、そして夢をもって入学できるよう今後も更なる連携事業を展開し、充実した義務教育9ヶ年を送れるようにしたいと考えています。



2015冬 北東中学校の風景から



北東中では、2学期の締めくくりの活動の一つとして、生徒会の美化園芸委員会が中心となり、玄関前のプランターや花壇にパンジーが植えられました。これから厳しい冬を迎えますが、春にはきっと今よりきれいに花が咲くことでしょう。美しい花の下には、しっかり根が張っていることを私達は忘れてはいけません。

詩人で書家の相田みつをさんの作品には、根の作品がいくつかあります。「夢はでっかく 根は深く」「花を支える枝 枝を支える幹 幹を支える根 根はみえねんだなあ」 玄関のパンジーは今、どんな思いで冬を越そうとしているのでしょうか。



下旬には、三層楼磨こう活動も展開されました。普段の清掃以外に窓のさんやガラスふき、床や壁の汚れ落とし、普段出来ない所を重点的に取り組み、意欲的に清掃活動している姿がとてもさわやかでした。



学校も1年の汚れを落とし、いよいよ新年を迎える準備ができました。年の瀬を迎え寒さも厳しくなりました。一年を終えるにあたり、家の中もきれいにして、身も心も気持ちよく新しい年を迎えたいものです。



真摯に自分自身と向きあう (しんし)



最近スマートフォン、携帯電話、ノートパソコン、携帯ゲーム機等のモバイル端末の普及により、インターネットの使い方が急激に変化しています。メール、ゲーム、SNS、チャットや掲示板等保護者が気づいていない使い方をしていないか確認することが大切となっています。三者懇談の折に、内閣府等からのパンフレットをお渡ししましたが、是非ご家族で読んでいただきたいと思えます。

自分自身がネット依存にならないためには、3つの力を身につけることが大切です。
1 自制力(我慢できる) 2 判断力(物事をしっかりとらえる) 3 責任力(自分の行いに責任がもてる) この力をどう身につけるかは何も難しいことではありません。時間を守る、あいさつをする、人の気持ちを理解する、学習に真剣に取り組む、係の仕事をする、部活動等に取り組むなど、学校生活をしっかり行うことです。また、家での生活をきちんと行うことで、その力が身につくものと私は考えています。大掃除をしたり、自分の身の回りを整理整頓し、自分自身を振り返り、真摯に自分と向きあうことで、大切にしなければならないことが見えてきます。短い冬休みですが、充実した冬休みを過ごしてほしいと思えます。



保護者ができる3つのポイント

《配布パンフレットより》

- ①適切にインターネットを利用する
- ②家庭のルールを作る
- ③フィルターリングなどを設定する

忘れてならない「日本の心」

校長 仙洞田茂雄

46億年前に地球という惑星が誕生した。惑星には海という大量の水があり、やがてその海に生物が誕生し、気の遠くなるような時間を費やして進化した。そして人類は10万年ほど前にアフリカで誕生し現在の祖先にあたる新人へと進化し世界中に広がった。やがて約1万2000年前、海面が上昇して日本列島は形づくられたという。四方を海に囲まれて南北に長い列島となり、海、山、森、川、溪流、・・・と変化に富んだ豊かな自然環境と奇跡ともいえる素晴らしい「四季」に恵まれた。季節の移ろいは国土を彩り、私たち日本人の心や豊かな感性を育てていった。農耕社会に始まり封建社会へ、明治維新から戦争・敗北を経て近代文明へと歴史は積み重ねられた。発展を遂げながら常に自然と共存し、日本人独自の文化や精神を生み出してきたのである。そんな日本に多くの外国人が訪れ、感想を残している。

1549（天文18）年フランシスコ・ザビエルが本国に送った手紙の一節にはこう書かれている「この国の人々は今までに発見された国民の中で最高であり、日本人より優れている人々は、異教徒の中で見つけられない。彼らは親しみやすく、一般に善良で、悪意がない。驚くほど名誉心の強い人々で、他の何ものよりも名誉を重んじる。大部分の人は貧しいが、武士も、そういう人々も貧しいことを不名誉とは思わない。」1922（大正11）年、アインシュタイン博士は「桜の花咲く憧れの国」として日本を訪れ講演の中で語った。「日本人はこれまで知り合ったどの国の人よりも、うわべだけでなく、全ての物事に対して物静かで控えめで、知的で、芸術好きで、思いやりがあって非常に感じの良い人たちです。」「日本人の素晴らしさは、きちんとした驕りや心のやさしさにある。」「この地球という星の上に今もなお、こんな優美な芸術的伝統を持ち、あのような素朴さと心の美しさをそなえている国民が存在している。」

時代と共に変化してきた日本社会。長い歴史の中で育まれた「日本の心・文化・習慣」を私たちは後世に大切に受け継いでいかなければならない。

流れ星に願いを込めて……………

2015年が終る

2015年が静かに終わろうとしています。

4月から様々な行事や学習を通し、多くの仲間とともに成長してきた皆さん、この1年を振り返り、誰にでもある素晴らしさ、心の中にある輝き、夢をしっかり育み、新年を迎えて下さい。保護者の皆様、地域の皆様方には本校教育活動の充実の為、日頃よりご支援ご協力をいただき心より感謝申し上げます。

2016年が皆様にとって素晴らしい年になりますように、

本校職員一同心より願っております。

♪君は知らない 君がどんなに美しいのか 君がどんなに素晴らしいのか
君がどんなに優しいのか

君は知らない 君の中にある 輝きを ♪
(ミーシャ 流れ星 より)

素晴らしい年になりますように

北東中学校 夕暮れ 正門前から南アルプスを望む

今後の予定

1月 7日	3年校長会テスト
8日	3学期始業式 避難訓練
12日	1・2年到達度テスト
16日	北口清掃
21日～25日	3年 三者懇談
29日	第5回PTA学校委員会



